

どじょうと金魚

小川未明

青空文庫

ある日、子供がガラスのびんを手にとって、金魚をほしいと
 いて、泣いていました。すると、通りかかったどじよう売りの
 おじいさんが、そのびんの中へ、どじようを二匹いれてくれまし
 た。

子供は、喜んで、びんに顔を押しつけるようにして、ながめ
 と、ひげをはやして、こっけいな顔に見えるどじようは、

「坊ちゃん、あのきれいなばかして、能のない金魚よりは、私
 のほうがよっぽどいいですよ。ひとつ踊ってみせましょうか？」
 といつて、一匹のどじようは、びんの底から水の上まで、もんど
 り打って、こっけいな顔を表面へだし、またびんの底に沈み

ました。

子供は、いままで、どじょうをばかにしていたのは、まったく自分の考えがたりなかったのだと知りしました。

「金魚よりか、あいきようがあるし、踊りもするし、ずっとおもしろいや。」と、子供は、びんを持ち歩いて、友だちに吹聴したのです。

金魚を持っている子供は笑って、

「そんな、どじょうなんかなんだい、この金魚は高いのだぜ。」
と、
「坊ちゃん、悲しむことはありません。まあ見ていてごらんなさい。」と、どじょうはいいました。

じめじめした、いやな天気てんきがつづきました。生活せい力りきの乏とほしい金魚きんぎょは、みんな弱よわって死しんでしまったけれど、どじょうは元げん気でんきした。そして、いつでもあいきょうのある顔かおをして、かわるがわるびんの中なかで踊おどっていました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 6」講談社

1977（昭和52）年4月10日第1刷

底本の親本：「未明童話集4」丸善

1930（昭和5）年7月

初出：「朝日新聞」

1928（昭和3）年5月18日

※表題は底本では、「どじょうと金魚《きんぎよ》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：栗田美恵子

2017年4月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

どじょうと金魚

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>